

# 北部保健所(宇佐・高田地区)の感染症情報

令和4年 第19週 (5月9日～5月15日)

5月

○県内の新型コロナウイルス検査陽性患者数は、延べ 49,715人です。(令和4年5月17日現在)

(新型コロナウイルス感染症とは)

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える方が多いことが特徴です。感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

詳しくは大分県のホームページ「新型コロナウイルスに関するお知らせ」を御覧ください。

(<https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/>)



## ダニ媒介感染症に注意しましょう。

ダニ媒介感染症、特に重症熱性血小板減少症候群(SFTS)については、高齢者が重症化しやすく注意が必要です。農作業や草刈り、山中での作業(山菜採りや狩猟等)は、ダニに咬まれるリスクが高いです。ダニは感染症の運び屋です。ダニが媒介する感染症から身を守るためには、

- 肌の露出を少なくすること(長袖・長ズボン・登山用スパッツ等)
- 明るい色の服を着ること
- 虫除け剤を使用すること

ダニに咬まれたときは無理に引き抜こうとせず医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。また、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

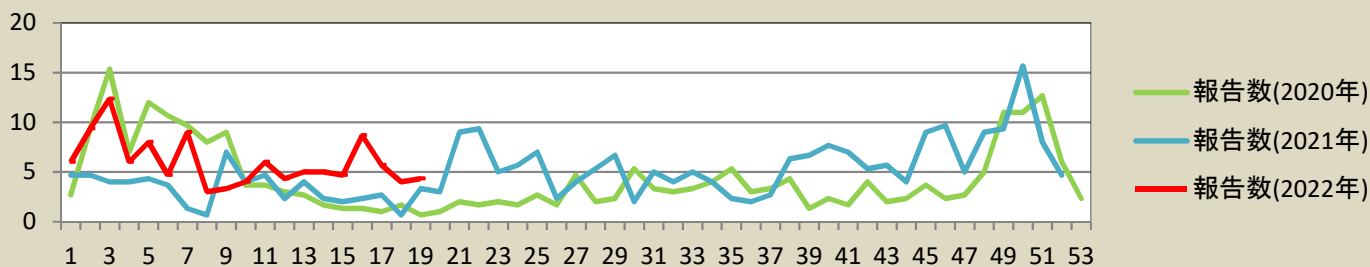
○感染性胃腸炎の報告があります。

細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はウイルス感染(ロタウイルス、ノロウイルス)などが多く、エンテロウイルス、アデノウイルスによるものや細菌性のものもみられます。集団発生を起こすことがありますので流水・石けんによる手洗いを習慣づけましょう。

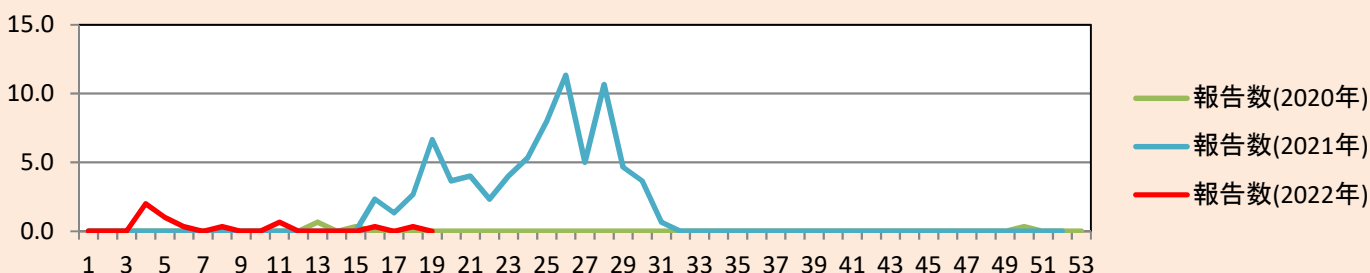
	インフルエンザ			RSウイルス	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数)
	A型	B型	不明												
0歳											0.33				
1～3歳							1.00								
4～6歳							1.00								
7～9歳							0.67								
10～14歳							0.67								
15～19歳							1.00								
20歳以上															
計							4.33				0.33				
70歳以上(再掲)															
前週				0.33			4.00								

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関数 インフルエンザ定点5、小児科定点3) ※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがあります。

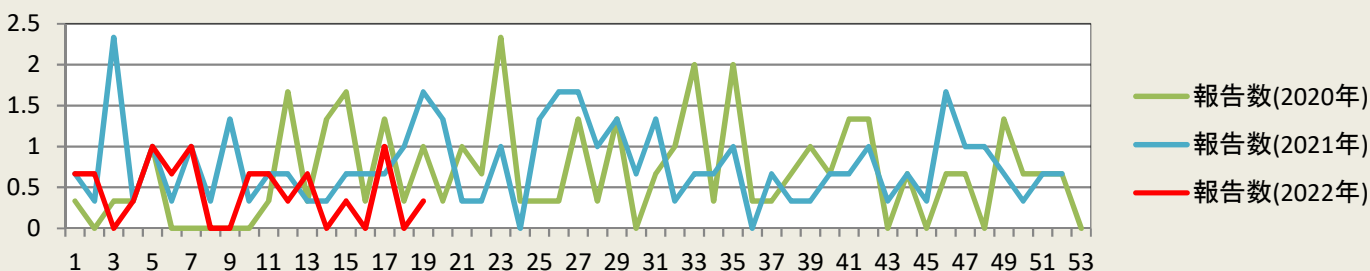
### 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



### 定点当たり報告数 RSウイルス感染症



### 定点当たり報告数 突発性発疹



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。
- ・「注意報」: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

お問い合わせ

北部保健所  
豊後高田保健部

0979-22-2210  
0978-22-3165

[a12089@pref.oita.lg.jp](mailto:a12089@pref.oita.lg.jp)